

2018年7月25日(水)
19:00開演(18:30開場)



増毛町立体育館

増毛町南島中町3-56-1

入場無料

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※会場は土足厳禁です。
※お車でご来場の方は、隣接する増毛町文化センター駐車場をご利用ください。

■指揮 佐藤 俊太郎 (札幌指揮者)

■管弦楽 札幌交響楽団

メンデルスゾーン
「真夏の夜の夢」より
序曲、スケルツォ、間奏曲、夜想曲、
結婚行進曲

モーツァルト
交響曲第41番八長調
「ジュピター」



医療×芸術×社会福祉のために、人々と支えあいながら「美」の文化をつたえたい。
「公益財団法人 萬田記念財団」は、
北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。

札幌交響楽団 増毛公演

平成30年度ましけ町民スクール第2回講座



photo: Higashi Akitoshi

【主催】ましけ町民スクール運営委員会

公益財団法人 札幌交響楽団

【後援】増毛町、増毛町教育委員会、増毛町社会福祉協議会

【協賛】公益財団法人 萬田記念財団

※やむを得ない事情により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

ましけ町民スクール運営委員会事務局
(増毛町教育委員会地域学習課文化振興係)
TEL0164-53-2427(平日9:00~17:00)
札幌交響楽団

TEL011-520-1771(平日9:30~18:00)

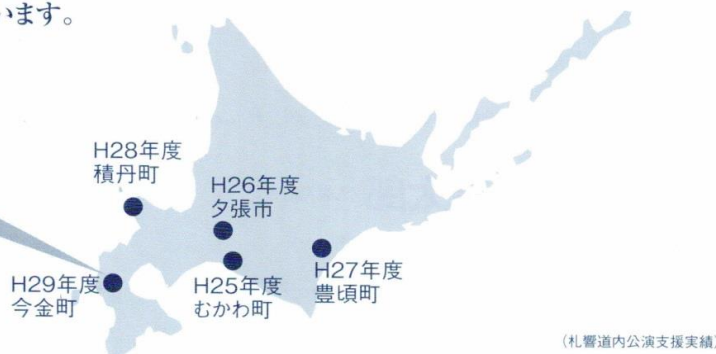


SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

公益財団法人 萬田記念財団は、医学を中心とする研究・教育活動の支援・貢献、芸術分野への支援・貢献、および社会福祉への支援を行うことにより、生命の安全を守る医療、社会福祉および情操の涵養を促す芸術の振興・向上を目的とする公益財団法人です。事業のひとつとして平成25年度から毎年度、北海道の音楽文化の担い手である札幌交響楽団の道内公演の開催を支援しています。



平成29年度 札幌今金公演(指揮:佐藤俊太郎)



(札幌道内公演支援実績)



©Higashi Akitoshi

指揮/佐藤 俊太郎

Shuntaro Sato, conductor

英国王立音楽院に学ぶ。在学中にオーケストラを結成し、ベートーヴェンの交響曲全曲を含む20回あまりの演奏会を独力で企画・運営・指揮し注目を集める。1996年イギリス室内管弦楽団(ECO)定期公演で正式デビュー。この成功によりECOのアソシエイト・コンダクターに就任。ECOとはロンドンをはじめヨーロッパ各地で演奏会を指揮。2000年からフィンランドのクオビオ交響楽団首席客演指揮者、2002年からの1年間は首席指揮者をつとめた。

これまでに、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、ヘルシンキ・フィル、フィンランド放送響、日本フィル、新日本フィル、読売日響、大阪フィル、京都市響などに客演。ズッカーマン、デュメイ、パウク、ケネディ、マイスキー、白井光子、プレガルディエン、バーバラ・ヘンドリックス、トーマス・アレン、ユジャ・ワン、コジェナー、サラ・チャン、イザベル・ファウストなど世界で活躍する演奏家たちと共演。2003年母校王立音楽院とエリザベス女王から王立音楽院会員(ARAM)の称号を与えられた。2016年4月から札幌交響楽団指揮者。

Profile

管弦楽/札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

札幌交響楽団は1961年に発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれている。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマーが務めた。現在、首席指揮者のマティアス・パーメルトのほか、名誉音楽監督の尾高忠明、名誉指揮者のラドミル・エリシュカ、指揮者として佐藤俊太郎と垣内悠希を擁し、2017年4月から友情客演指揮者に広上淳一を迎えた。年に約120回のオーケストラ・コンサートをを行うほか、積極的に地域活動に参加、年に約50回の小編成での教育福祉活動を行っている。海外公演はこれまでに、アメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。レコーディングにも積極的で、尾高とのベートーヴェン、シベリウス、エリシュカとのドヴォルジャーク、ブラームス、チャイコフスキーなどがある。ボンマーともメンデルスゾーン、ブルックナー、シューマン、R.シュトラウス、バッハをリリースし、高い評価を得た。



©Yasuo Fujii